

使用上の注意改訂のお知らせ

2023 年 1 月

製造販売元



日新製薬株式会社

山形県天童市清池東二丁目 3 番 1 号

抗血小板剤

ロレアス®配合錠「NS」

クロピドグレル硫酸塩／アスピリン配合剤

処方箋医薬品（注意－医師等の処方箋により使用すること）

この度、標記製品の「使用上の注意」を下記のとおり改訂致しますのでご案内申し上げます。
今後のご使用に際しましては下記の内容をご参照くださいますようお願い申し上げます。

改訂内容（ ____部：通知による追記又は改訂 _____部：記載整備）

改 訂 後	改 訂 前
<p>＜用法・用量に関連する使用上の注意＞</p> <ol style="list-style-type: none">1. 現行のとおり2. スtent留置患者への本剤投与時には該当医療機器の電子添文を必ず参照すること。なお、原則として本剤の投与終了後は単剤の抗血小板剤に切り替えること。3. 現行のとおり	<p>＜用法・用量に関連する使用上の注意＞</p> <ol style="list-style-type: none">1. 省略2. スtent留置患者への本剤投与時には該当医療機器の添付文書を必ず参照すること。なお、原則として本剤の投与終了後は単剤の抗血小板剤に切り替えること。3. 省略
<p>【使用上の注意】</p> <p>4. 副作用</p> <p>本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。</p> <p>(1) 重大な副作用（クロピドグレル硫酸塩あるいはアスピリンで報告されているもの）（頻度不明）</p> <p>1) ～ 12) 現行のとおり</p> <p>13) <u>インスリン自己免疫症候群：重度の低血糖を引き起こすことがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止するなど適切な処置を行うこと。</u></p>	<p>【使用上の注意】</p> <p>4. 副作用</p> <p>本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。</p> <p>(1) 重大な副作用（クロピドグレル硫酸塩あるいはアスピリンで報告されているもの）（頻度不明）</p> <p>1) ～ 12) 省略</p>
<p>10. その他の注意</p> <p>(1)～(2) 現行のとおり</p> <p>(3) <u>インスリン自己免疫症候群の発現は HLA-DR4（DRB1＊0406）と強く相関するとの報告がある⁷⁾。なお、日本人は HLA-DR4（DRB1＊0406）を保有する頻度が高いとの報告がある⁸⁾。</u></p> <p>(4)～(5) 現行のとおり</p>	<p>10. その他の注意</p> <p>(1)～(2) 省略</p> <p>(3) <u>クロピドグレル硫酸塩/アスピリン配合剤投与中に、重度の低血糖を引き起こす可能性があるインスリン自己免疫症候群が発症したとの報告があり、HLA 型を解析した症例の中には、インスリン自己免疫症候群の発現と強く相関するとの報告がある HLA-DR4（DRB1＊0406）を有する症例があった。なお、日本人は HLA-DR4（DRB1＊0406）を保有する頻度が高いとの報告がある。</u></p> <p>(4)～(5) 省略</p>

改 訂 後	改 訂 前
【主要文献】 1) ～ 6) 現行のとおり 7) Uchigata, Y., et al. : Diabetes, 1995 ; 44(10) : 1227-1232 8) Uchigata, Y., et al. : Human Immunol. 2000 ; 61 : 154-157 現行の 7)～11) を 9)～13) に繰り下げ	【主要文献】 1) ～ 11) 省略

改訂理由

◆厚生労働省医薬・生活衛生局医薬安全対策課長通知（2023 年 1 月 17 日付）に基づく改訂

◆記載整備

「添付文書」を「電子添文」に変更しました。

今回の改訂内容（記載整備を除く）は、日本製薬団体連合会発行 医薬品安全対策情報(DSU No314 2023 年 2 月)に掲載される予定です。最新の電子添文は、PMDA HP「医薬品に関する情報」(<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html>) および弊社 HP (<https://www.yg-nissin.co.jp/>) に掲載致します。また、電子添文閲覧アプリ「添文ナビ」を用いて以下の GS1 バーコードを読み取ることで電子添文をご覧いただくことが可能です。

ロレアス配合錠「NS」

